

発言No.

3

受付No. 9

令和 5年 11月 22日
8時57分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市におけるインバウンドの現状と推進について

- ① 9月定例会議で同僚議員から外国人観光客の動向について、一般質問があったところだが、答弁では主に宿泊を伴う労働者も含めた数値で示されたように思う。宿泊を伴わない日帰り観光、体験ツアーなどで外国人が浜田市にどのくらい訪れていると思われるか認識について問う。
- ② カナダに本社があるGアドベンチャーズが実施する日本の裏側ツアーが活発に行われている。浜田市においては2月末から12月末までの期間に月3～4回、最大15人の外国人が石州和紙会館等に訪れて創作や文化体験が行われ、次年度の予約もかなり先まで入っていると聞くが、この事業を継続して受け入れるための課題と市の支援策について問う。

2 地域における定住住宅の確保について

- ① 6月定例会議の一般質問で取り上げた弥栄地域における農業研修生、技能実習生等、就農希望者に対する入居可能な住宅の戸数について改めて問う。

3 第一次産業の人材育成に係る環境について

- ① はまだ市民一日議会で、子どもたちの水産体験としてサザエなどの海産物を海とふれ合いながら取ったり食べたり出来ないものかと質問があった。課題もあると思うが、可能性について問う。
- ② 林業体験に関する若い市民の声で、木の苗を植えて、育てて、伐って、使うまでの循環を急峻な山ではなく、子どもたちも参加しやすい耕作放棄地等で体験できないか可能性と課題について問う。